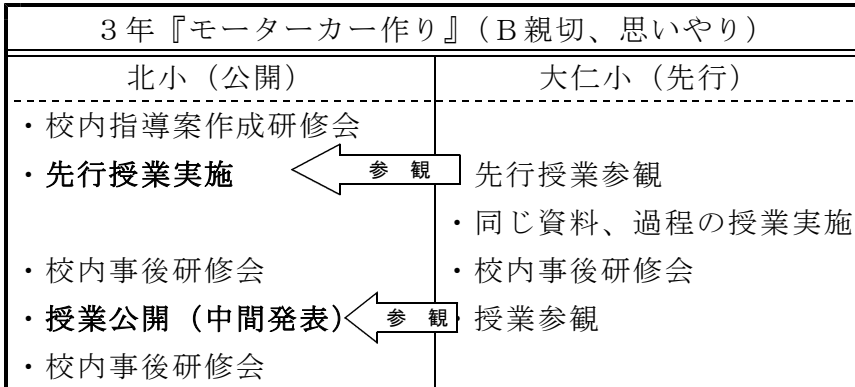


4 小小連携による道徳授業の研究(大仁小・大仁北小共同実践)

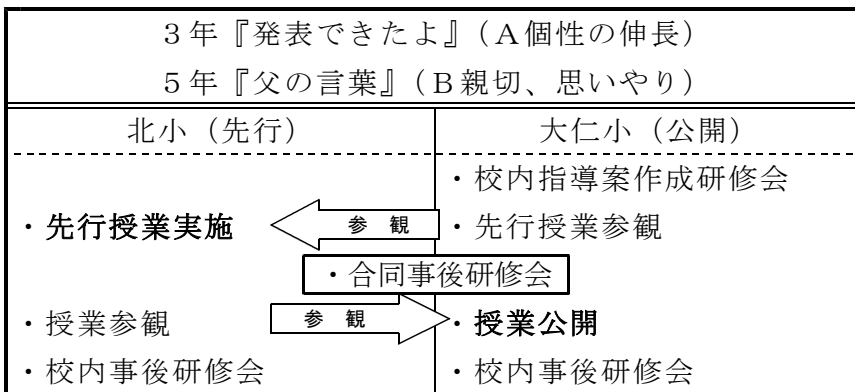
それぞれの小学校が「自分との関わりで道徳的価値を考える授業」を目指し、研修の視点確認や多様な考えに出会う発問の工夫や考えを整理する板書、ふりかえりカードの蓄積など研修を進めてきた。また、相互の授業参観を通して連携を図った。

○授業公開（中間発表）に向けての連携

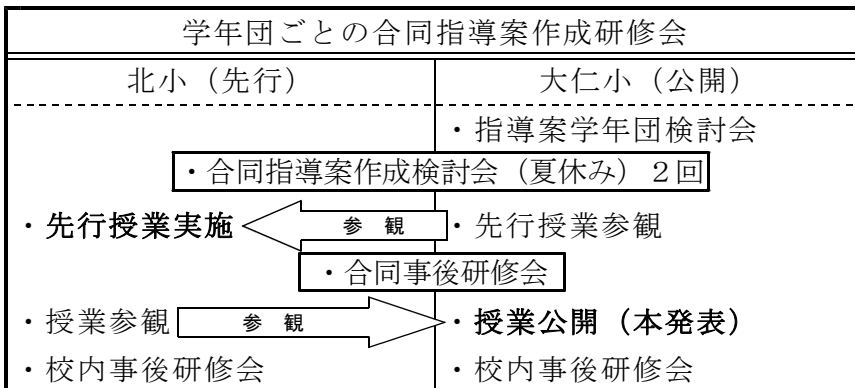


事前の指導案検討会を実施していなかったため、研修視点にずれが見られ連携を進める上での課題が浮き上がってきた。そこで、前回の反省を生かし、その後の合同研修では、ある程度練られた学習指導案に基づいて、先行授業実施校でも独自に同じ視点から学習指導案検討会を実施した上で、公開授業や事後研修会に参加した。

○授業研修をより深める合同研修



○授業公開（本発表）に向けての連携



小小連携をより効果的なものにするためには「学習指導案作りの初めから合同で取り組まなければ、上手くいかない」という反省から、合同指導案作成研修会を実施した。2回の学習指導案作成研修会では、学年団ごとに考えることで、児童の予想される表れなど考えやすく、どのような発問にすればねらいとする道徳的価値の焦点化が図れるかなど、授業者の意図を確認したり具体的な内容について意見交換ができたりと、共通理解のもとで指導案づくりを進めることができた。今後さらに、児童が多面的、多角的に考える道徳への授業改善のために研修したい。